

高橋竹山没後 25 周年

大西功一監督作品上映会・東京月桃三味線ライブ開催

— 地域や暮らしの中で伝わる風習、文化、記憶に目を向けるきっかけに —

株式会社クラビズ（本社：岡山県倉敷市阿知 3 丁目 1-2、代表取締役：秋葉優一）は、2023 年 3 月 25 日（土）に同社が運営するカフェ&バー「KAG（カグ）」にて、大西功一監督作品『スケッチ・オブ・ミャーク』『津軽のカマリ』の上映、並びに東京月桃三味線のライブを開催します。

2023.03.25 sat
会場 Cafe&Bar KAG

第一部 映画『スケッチ・オブ・ミャーク』上映会
+ 大西監督トーク
開場 15:00 / 開演 15:30
前売 1500円 / 当日 1800円 (+1Drink別途)

第二部 映画『津軽のカマリ』上映会
+ 大西監督トーク
+ 東京月桃三味線ライブ
開場 17:45 / 開演 18:15
前売 2000円 / 当日 2500円 (+1Drink別途)

作品上映 + 東京月桃三味線ライブ
大西功一監督

※お支払いは当日会場にて、現金払いをお願いしております。
チケット申し込み ▲

本上映会では、大西監督作品で描かれる土着の音楽の息吹を肌で感じていただきます。情報が氾濫する現代社会において忘れ去られてしまう恐れのある、地域や暮らしの中で口伝される風土、風習、文化、記憶の重要性に改めて目を向けるきっかけになればと思います。

イベントは2部制で構成しており、いずれも映画上映後に大西監督のトークショーを開催予定。第1部では『スケッチ・オブ・ミャーク』を上映。沖縄宮古諸島の老人達が記憶する古代の唄とかつての島の暮らしを題材としています。第2部では『津軽のカマリ』を上映。今もなお北東北に息づく津軽三味線奏者「初代 高橋竹山」の生業や音色に焦点を当てています。さらに2部の上映後には、東京月桃三味線のライブパフォーマンスを開催予定です。

■概要

▼スケジュール/料金：

【第1部】

『スケッチ・オブ・ミヤーク』上映会 + 大西監督トーク

開場 15:00 / 開演 15:30

前売 1500 円 / 当日 1800 円 (+1Drink 別途)

【第2部】

『津軽のカマリ』上映会 + 大西監督トーク + 東京月桃三味線ライブ

開場 17:45 / 開演 18:15

前売 2000 円 / 当日 2500 円 (+1Drink 別途)

※お支払いは当日会場にて、現金払いをお願いしております。

▼お申込み

下記 QR コードを読み取り後、フォームへのご回答をお願いいたします。



▼アクセス

KAG (カグ) 〒710-0055 岡山県倉敷市阿知 3 丁目 1-2



■大西功一監督



1965年、大阪生まれ。大阪芸術大学在学中よりテレビ報道カメラマンのアシスタントにつく。1988年、学友らと、消え行く町を背景にギター流しを追ったドキュメンタリー「河内遊侠伝」が卒業制作学科賞。同年上京、映像プロダクションへ。1991年、退社後、歌手 高田渡を象徴的役柄に配し、映画「吉祥寺夢影（きちじょうじむえい）」を製作。1995年、北海道函館を舞台に、前作について高田渡を配し、「とどかずの町で」を発表。他にテレビ番組、ミュージックビデオ、DVD作品等、多ジャンルの映像を手掛ける。16年ぶりの映画、2011年完成の「スケッチ・オブ・ミャーク」がロカルノ国際映画祭（スイス）批評家週間部門にてグランプリに次ぐ「審査員スペシャルメンション2011」獲得。全国でヒットする。2018年に津軽三味線の巨星、故初代高橋竹山を軸に津軽を描いた「津軽のカマリ」を全国公開。今も上映が続くロングランに。現在、92歳の大道芸人、ギリヤーク尼ヶ崎を被写体に新作を制作中。

■東京月桃三味線



2008年、日本の風土に根差した土着的な音楽を志し、東京を拠点に活動を開始。2012年に活動拠点を京都へと移し、自然の機微を感じながら自給農を通じて土と向き合う生活を創作活動の基盤とする。国内外のさまざまな舞台、神社仏閣、路上、自然の中などで幅広く演奏活動を展開し、さまざまな音楽家や表現者との共演も重ねながら、現代に息づく独自の三味線音楽を創造している。

■初代 高橋竹山



明治 43 年（1910）6月18日、青森県東津軽郡中平内村（現・平内町）字小湊で生まれる。本名・定蔵。幼いころ麻疹をこじらせ半ば失明する。近在のボサマ（門付芸人）から三味線と唄を習って東北近県を門付けして歩いた。昭和 19 年（1944）、青森県立八戸盲啞学校に入学し、鍼灸・マッサージの免状を取得。戦後は「津軽民謡の神様」と言われた成田雲竹の伴奏者として各地を興行、竹山を名乗る。この間、「りんご節」「鱒ヶ沢甚句」「十三の砂山」等、数々の津軽民謡を新たに三味線曲として編曲した。昭和 39 年に独立、津軽三味線の独奏という芸域を切り開き、全国に竹山ブームを巻き起こす。昭和 50 年、第 9 回吉川英治文化賞、第 12 回点字毎日文化賞を受賞。昭和 58 年には勲四等瑞宝章を受ける。平成 10 年（1998）2月5日、喉頭ガンのため死去。戒名「風雪院調絃竹山居士」。2023 年没後 25 周年を迎える。

報道関係者様のお問い合わせ先

Café&Bar KAG 店主 玉岡礼汰

TEL : 086-441-8817 MAIL : hostelkag@gmail.com